



ばるっこ

学校教育目標

～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～
中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ ありがとう あきらめない
北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

第3回 家庭学習マイスター賞・あいさつ名人の表彰をしました！

12月22日（月）に家庭学習マイスター賞とあいさつ名人の子どもたちを表彰しました。今回、家庭学習マイスター賞に表彰された子どもは23名、あいさつ名人に表彰された子どもは20名です。表彰されたみなさん、おめでとうございます。これからも継続して取り組んでほしいと願っています。

下記に家庭学習の取組の大切さについてお伝えします。

小学生の家庭学習は、単なる復習だけでなく、将来にわたる「学びの土台」を作る重要な役割があります。3点ご紹介します。今後の参考にしてください。

1. 学習習慣の定着（自立への第一歩）

低学年のうちから毎日机に向かう習慣をつけると、学年が上がるにつれて難しくなる授業内容にも対応しやすくなります。自分で時間を管理し、課題をこなす経験は、文部科学省が推進する「主体的に学習に取り組む態度」の育成に直結します。

2. 基礎学力の定着と苦手克服

学校の授業だけでは、知識が十分に定着しないことがあります。家庭での反復練習（計算や漢字など）によって記憶が定着し、「わからない」を放置せずに済みます。基礎ができることで、授業への自信も生まれます。

3. 学習環境の最適化と親子のコミュニケーション

家庭は、子どもの理解度を保護者が直接把握できる場所です。よくできているポイントやつまずいているポイントを早めに見つけ、褒めたり励ましたりすることで、子どもの学習意欲を高めることができます。

西部ガス出前授業（5年）



12月19日（金）に5年生は小学校応援団の西部ガスの出前授業を受けました。西部ガスの仕事や暮らしの中で使用されているガスの種類、ガスの使用などについて学びました。子どもは、身近な所でガスが使われていることに驚いていまし

租税教室（6年）



12月17日（水）に6年生は小学校応援団の出前授業で税について学びました。当日は、税理士の中塚様からどのような仕組みで税が集められ、どのような使われ方をしているのかなど学びました。納税の大切さを考える時間となったようです。

平和の大切さを全校に！（6年生）

12月18日（木）に6年生は、総合的な学習の時間で学んできた「平和の大切さ」について縦割りグループの子どもたちに伝えました。各グループの内容を聞いた下級生は、「今の平和の世の中が当たり前ではないことがわかりました」など様々なことを考えたようです。

